

幼児教育学科 第1部 [令和6年度入学生]

【教育目的】

子どもに対する愛情と保育への使命感を持ち、豊かな人間性と知識、保育実践力を備えた幼児教育・保育の専門家として社会に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

子どもの健やかな育ちを支える幼児教育・保育に関する専門的知識、技術を身につけた保育者を養成する。

さらに、教育理念である正明和信の心を持ち、豊かな教養を身につけた保育者として社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とする。

学習成果

基礎科目

建学の精神に基づいた女性を目指す
以下の能力を身につけた女性になることができる

知識を身につけ、理解を深める能力
専門分野の基礎となる知識を身につけ、社会に対応し、地域に貢献していくための基本的な知識の理解

思考力・判断力を身につけ、表現する能力
専門分野を学ぶための基礎となる思考力や判断力、表現力

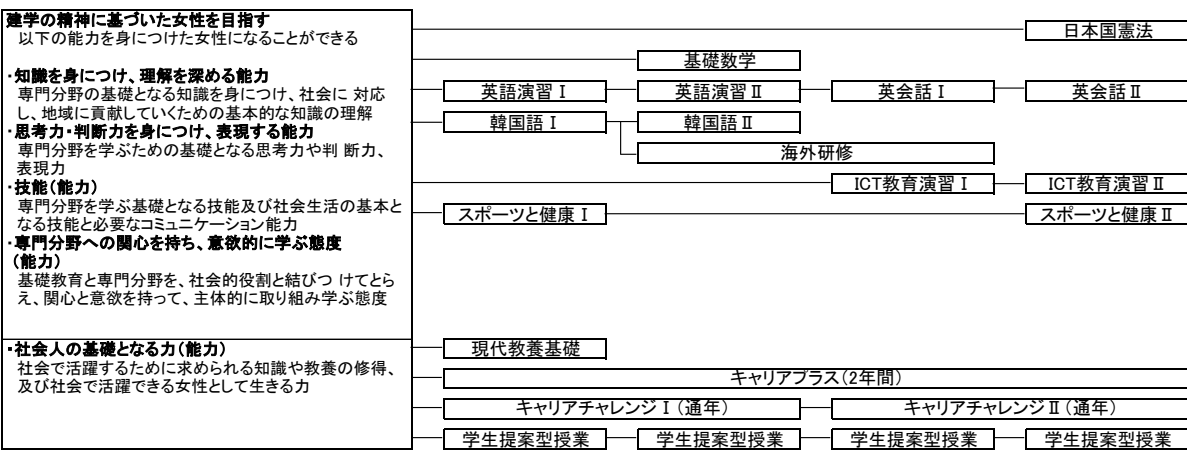
技能(能力)
専門分野を学ぶ基礎となる技能及び社会生活の基本となる技能と必要なコミュニケーション能力

専門分野への関心を持ち、意欲的に学ぶ態度(能力)
基礎教育と専門分野を、社会的役割と結びつけてとらえ、関心と意欲を持って、主体的に取り組み学ぶ態度

社会人の基礎となる力(能力)
社会で活躍するために求められる知識や教養の修得、及び社会で活躍できる女性として生きる力

K

1年前期 1年後期 2年前期 2年後期



専門科目

保育・幼児教育の基礎能力
保育・幼児教育の意義や社会福祉との関係、保育者の役割・職務内容等を学習することによって、保育・幼児教育の本質を理解することができる。

A

保育・幼児教育の対象を理解する能力
子どもの健康を含め、子どもの家庭環境や個々の子どもの心身の支援の仕方を学習することによって子どもの発達を理解することができる。

B

領域及び保育・幼児教育の内容と指導法に関する能力
乳幼児や障がい児を深く理解し、支援の仕方を学習する。さらに、保育・幼児教育の具体的な内容とその指導法について学ぶことによって、保育・幼児教育場面において指導に活用できる。

C

保育実践能力
これまで学んだ知識と技術を統合し、保育実習と幼児教育実習を通して、保育・幼児教育での実践能力を身につけることができる。

D

1年前期 1年後期 2年前期 2年後期



幼児教育学科 第1部 [令和5年度入学生]

【教育目的】

子どもに対する愛情と保育への使命感を持ち、豊かな人間性と知識、保育実践力を備えた幼児教育・保育の専門家として社会に貢献できる人材を育成する。

【教育目標】

子どもの健やかな育ちを支える幼児教育・保育に関する専門的知識、技術を身につけた保育者を養成する。

さらに、教育理念である正明和信の心を持ち、豊かな教養を身につけた保育者として社会に貢献できる人材を育成することを教育目標とする。

学習成果

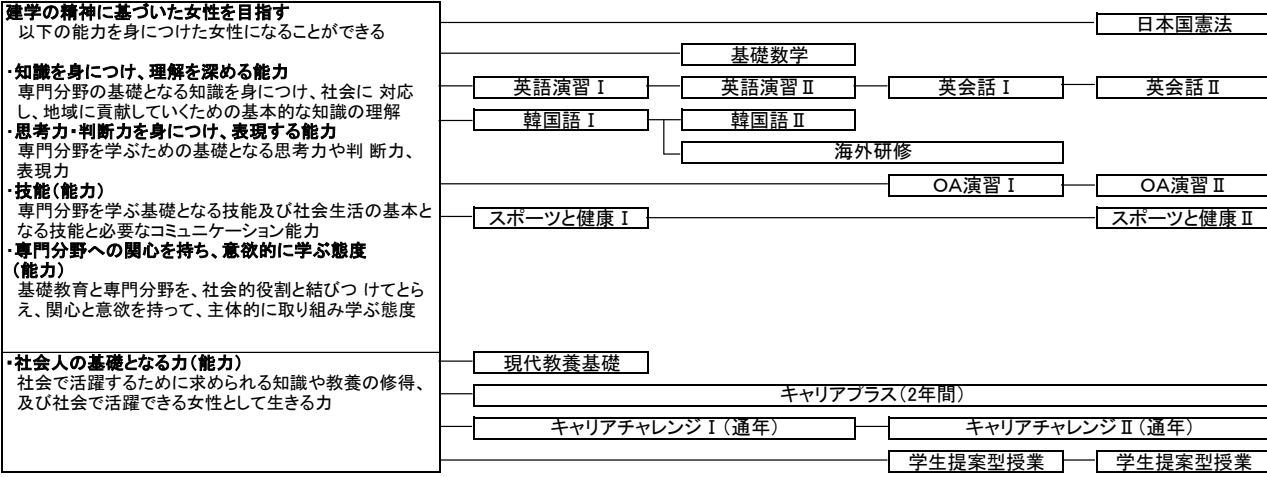
基礎科目

建学の精神に基づいた女性を目指す
以下の能力を身につけた女性になることができる

- 知識を身につけ、理解を深める能力**
専門分野の基礎となる知識を身につけ、社会に対応し、地域に貢献していくための基本的な知識の理解
- 思考力・判断力を身につけ、表現する能力**
専門分野を学ぶための基礎となる思考力や判断力、表現力
- 技能(能力)**
専門分野を学ぶ基礎となる技能及び社会生活の基本となる技能と必要なコミュニケーション能力
- 専門分野への関心を持ち、意欲的に学ぶ態度(能力)**
基礎教育と専門分野を、社会的役割と結びつけてとらえ、関心と意欲を持って、主体的に取り組み学ぶ態度

社会人の基礎となる力(能力)
社会で活躍するために求められる知識や教養の修得、及び社会で活躍できる女性として生きる力

1年前期 1年後期 2年前期 2年後期



専門科目

保育・幼児教育の基礎能力
保育・幼児教育の意義や社会福祉との関係、保育者の役割・職務内容等を学習することによって、保育・幼児教育の本質を理解することができる。

保育・幼児教育の対象を理解する能力
子どもの健康を含め、子どもの家庭環境や個々の子どもの心身の支援の仕方を学習することによって子どもの発達を理解することができる。

領域及び保育・幼児教育の内容と指導法に関する能力
乳幼児や障がい児を深く理解し、支援の仕方を学習する。さらに、保育・幼児教育の具体的な内容とその指導法について学ぶことによって、保育・幼児教育場面において指導に活用できる。

保育実践能力
これまで学んだ知識と技術を統合し、保育実習と幼児教育実習を通して、保育・幼児教育での実践能力を身につけることができる。

1年前期 1年後期 2年前期 2年後期

